

科目	作業療法学特論Ⅲ	担当	飯塚 照史	履修学年	4年
時間数	90分×時限×8回(週1回)	履修区分	必修	単位数	1単位

**【授業目標・到達目標】**

本科目では、ハンドセラピー(手外科作業療法)と内部疾患に関わる各論的内容から成る。内部疾患については、解剖学、生理学等基礎医学で学んだ知識を基に、呼吸器疾患(吸引)、循環器疾患、悪性腫瘍(終末期)、内分泌代謝疾患の臨床において必要な基礎的知識を習得することを目標とする。これらを通じ、内部疾患に対する作業療法の実践的内容を説明できることを目指す。ハンドセラピーについては、身体障害作業療法学等で学んだ知識を基に、さらに実践的な内容として症例検討を行い、“意見の言えるセラピスト”育成を目指す。

**【履修注意】**

整形外科領域、内部疾患障害の作業療法臨床実践に関する講義内容であるため、解剖、生理学などの十分な基礎知識が必要である。

**【評価方法】**

- ・ハンドセラピーについては、事例検討に関するレポート課題にて評価する。
- ・内部疾患については、作業療法の基礎知識に関するレポート課題にて評価する。
- ・講義回数の2/3以上の出席に満たない者は評定対象から除外する。

**【試験について】**

- ・上記評価方法にて評価するため、定期試験は実施しない。

**【予習・復習】**

- ・ハンドセラピーについては、解剖学、生理学、運動学、整形外科学などの十分な予習、復習が必要である。
- ・内部疾患については、解剖学、生理学などの十分な予習と講義毎に小テストを実施し知識の確認を行う。

**【教科書】**

- ・ハンドセラピー、内部疾患ともに配布資料を中心に行う。

**【参考書】**

**【その他の注意事項】**

**【授業計画・内容】**

回数	項目	内容
1	呼吸器疾患に対する作業療法	呼吸器疾患(吸引)基礎知識・作業療法の実際・留意点
2	循環器疾患に対する作業療法	循環器疾患基礎知識・作業療法の実際・留意点
3	悪性腫瘍・内分泌疾患に対する作業療法	悪性腫瘍・内分泌疾患の基礎知識・作業療法の実際
4	ハンドセラピーの基礎知識	必要な解剖学的知識の確認・応用・術式の理解
5	ハンドセラピーの実践1	初期治療時のハンドセラピー・基本・留意点
6	ハンドセラピーの実践2	複合組織損傷に対するハンドセラピー治療戦略・基本・留意
7	ハンドセラピー事例検討	事例検討・まとめ・レポート提出
8	レポート提出	まとめ・復習・確認
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		